

株式会社JCCL CO₂分離・回収装置及び材料の製品化成功に関する
会見のお知らせ

九州大学発スタートアップの株式会社JCCL（本社：福岡市西区）は、この度CO₂分離・回収装置及び材料の製品化に成功いたしました。

この装置により、国が目指す2050年までのカーボンニュートラル実現に向けて、従来よりも低コストなCO₂分離回収に貢献してまいります。

つきましては、下記のとおり会見を行い、装置の試運転も予定しておりますので、当日はぜひ取材に来ていただきますようお願いいたします。

記

1 日時

令和6年5月24日（金）14時00分～14時20分

2 会場

いとLab+ 研究開発棟201号室 株式会社JCCLラボ内（福岡市西区九大新町5-5）

※当日は**13時50分**までに、別紙1の集合場所にお越しください。

3 出席者

○株式会社JCCL

代表取締役 CEO

梅原 俊志（うめはら としゆき）

取締役 COO

山下 知恵（やました ちえ）

○九州大学

総長

石橋 達朗（いしばし たつろう）様

大学院工学研究院 教授

星野 友（ほしの ゆう）様

○福岡市

市長

高島 宗一郎（たかしま そういちろう）様

4 次第

（1）九州大学総長 挨拶

（2）株式会社JCCL 取組みご紹介

（3）福岡市長 挨拶

（4）装置説明・デモ運転

（5）写真撮影

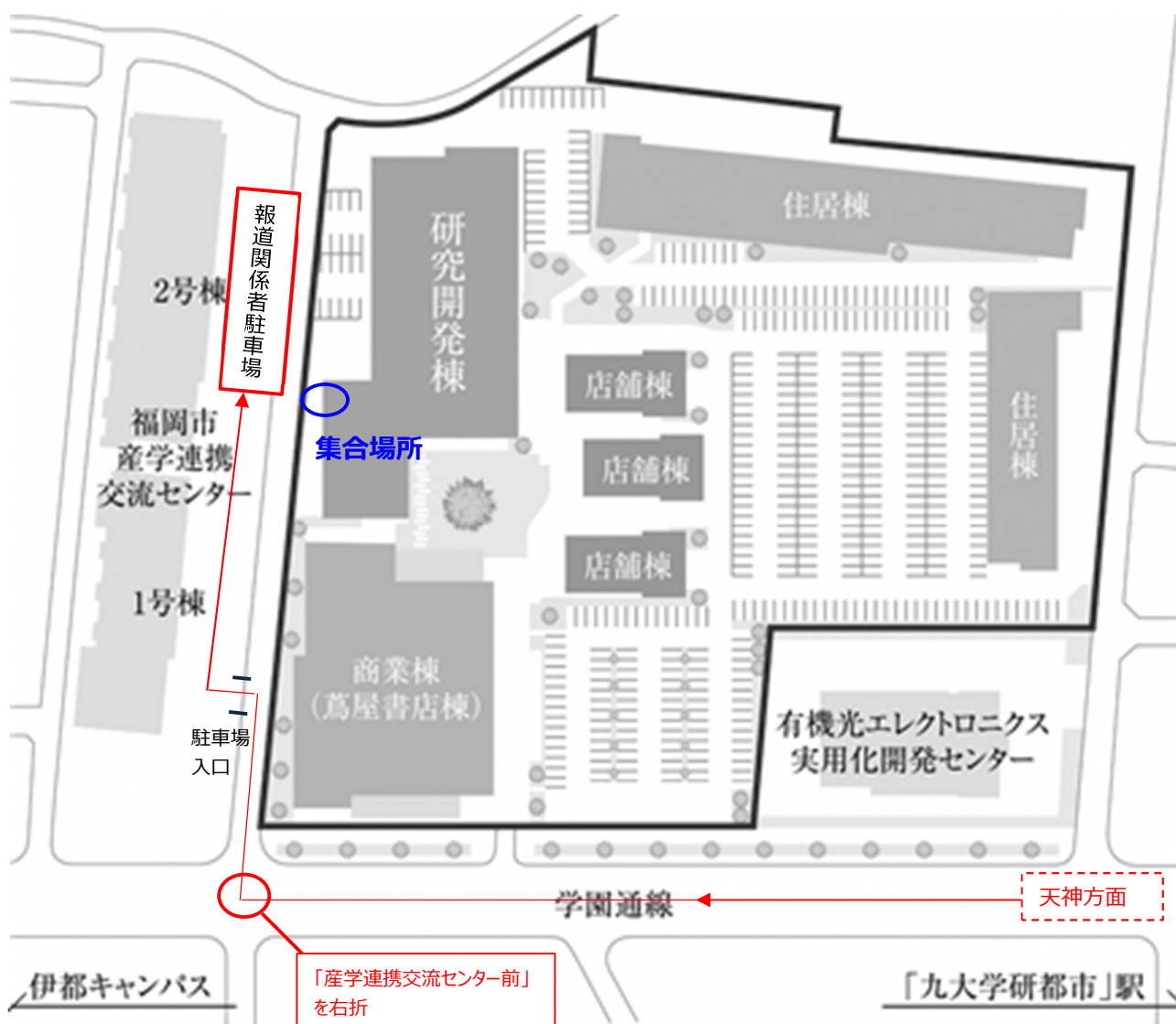
【お問い合わせ】

株式会社JCCL 事業開発部 馬場崎 Mail: babasaki.takashi@jccl.co.jp

★集合場所 いとLab+ 研究開発棟 入口前

★駐車場 福岡市産学連携交流センター 2号棟前

集合場所・駐車場それぞれに職員を配置しておりますので、ご不明な点がございましたら、お声掛けください。



【参考】今回製品化に成功したCO₂分離・回収装置について**① 減圧蒸気スweep型膜分離性能評価装置（VSS1）**

- ✓ CO₂分離膜に、調湿されたCO₂含有ガスを流し、透過側を減圧、蒸気供給することで膜の性能を評価する装置。
- ✓ 透過側に流す減圧蒸気の供給量や相対湿度を自動制御し、濃度13%のCO₂を1ヶ月以上安定して97%以上に濃縮できることを確認済。
- ✓ DACや排ガスからのCO₂回収のために自社で開発した分離膜の性能評価やCO₂回収装置の設計に活用可能。

② 減圧蒸気スイング型CO₂回収装置（VPSA1）

- ✓ 調湿されたCO₂含有ガスを固体吸収剤に供給してCO₂を吸収させ、相対湿度が自動制御された減圧蒸気を定量供給することで、1日2kg程度のCO₂を97%以上に濃縮・回収できる装置。
- ✓ 自社で開発した吸収剤の性能評価や小規模・低コストなCO₂回収装置設計に活用可能。